

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 6 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 3 年 1 1 月 1 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～正午		
開 催 場 所	I T ルーム		
出 席 委 員	飯田勲委員、伊藤清委員、柿原朋子委員、前川正治委員		
欠 席 委 員	小宮山とみ子委員、松浦妙子委員		
事 務 局 員	松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告 (10月28日開催)</p> <p>2 第29回貫井南センターまつりについて</p> <p>3 各講座の報告と計画 〔計画・報告〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「滝めぐり」、男女共同参画講座「津田梅子と女性の高等教育」、国際交流イベント「初釜」</p> <p>4 その他 音楽鑑賞のつどい「クリスマスコンサート」</p> <p>次回の日程 平成 2 3 年 1 2 月 6 日 (火) 午後 2 時～ 学習室 C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（開催日 10月28日）

（1）報告事項

ア（仮称）貫井北町地域センター建設市民検討委員会（実施設計）第4回までの報告について

照明器具等具体的な論議となった。照明設備（蛍光灯）は公民館では通常の蛍光灯（500ルクス）で構わないが、図書館はまだ論議中。学習室、ホールの音響設備の充実、家事実習室の調理はガス仕様、工作室にもガラス細工に使うため、ガス設備を設置する。パソコン使用に伴うコンセント設置個所は検討中。1階飲食コーナーは今後検討する。備品類は市側での検討となる。12月11日（日）が最終検討会となる。最終報告は1月の公運審で報告。2月頃には、概要版が作成される予定。

イ 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会について

9月16日（金）に第4回委員部会運営委員会が開催され、研修会のアンケート、第2回研修会、第3回研修会について議論した。第2回研修会は、講師は元西東京市公民館職員（近藤氏）。来年1月10日（火）に都公連課題別研修を公運審、職員を対象に行う予定。

ウ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「滝めぐり」を報告。第1回会議での山田委員の発言「単なるレクリエーション」について、仲間づくりや普段の生活の潤いの充実、公民館へ出向くきっかけづくりがある等を説明。その他の報告として、平成23年度小金井市公民館三者合同研修会と企画実行委員連絡会について行った。

（2）審議事項

ア 平成24年度教育施策について

教育委員会の教育目標中、5頁の（5）、（7）は変更可能。（7）の⑤にある、「平成22年度の基本設計」を「平成23年度の実施設計」、「今年度は実施設計に着手」を「今年度は工事に着手」とする。（5）の公民館の充実に「震災の経験から公民館の役割を考える」を入れることを検討。今後、教育方針には子どもの権利条例を反映したものにしてもらいたいとの意見が出され、館長から他の会議等で提案してみることにした。

イ 来年度の事業について

次回の議題とする。

ウ 公民館事業の計画について

貫井南分館からは提出なし。その他、議論なし。

エ 三者懇談会のテーマについて

情報ネットワークの構築では、範囲が広いため今後検討する。全体でもう一度検討を要する。

次回委員会（三者合同会議）の予定 平成23年11月25日（金）午後2時～

2 第29回貫井南センターまつりについて

来年度の公民館のイベント案については、次回に提案してもらおう。企画実行委員のまつりへの関わりについては、公民館独自のイベント以外の全体的なものへのリーダー的関わり方は難しい。公民館利用団体、自治会、ぬくい会も高齢化が進み運営が本来の実行委員形式での運営は難しい局面に来ている。12月13日（火）午前10時から正午まで貫井南センターまつり準備会を学習室ABで開催予定。本来のまつりのあり方を明確にする必要がある。公民館としてのまつりのあり方や構成案を作成しておく必要がある。

3 各講座の報告と計画

○高齢者学級「けやき学級」

10月26日（水）の野外学習「国会議事堂&警視庁」は、国会議事堂（参議員）の参観者が多く、説明もそこそこに迫り立てられるような見学となったため、時間調整が必要となった。11月2日（火）は、参議員本会議があるため、衆議院の見学となる。平成24年度の見学先は、委員3名との打合せの結果、学級全体で行く箇所は、6月に筑波宇宙センターへ（小金井市社会福祉協議会車両みどり号使用）、また、市マイクロバスで2班に分かれての行く箇所は、9月に航空整備場、10月に朝日新聞、熱帯植物園、築地場外市場を予定している。航空整備場は他1箇所を検討する。来年度の回数は全22回を予定している。

○成人学校「滝めぐり」

実施日の10月7日（金）、天気は快晴であった。応募は58人、参加者は実施直前に2人キャンセルとなったため、18人となった。今回のコースは道が狭いため、途中での講師からの話を全体まとまって聞けなかった。参加者の中には、途中引き返す方、スニーカーで来られた方が足を滑らすこともあったが、無事帰ってくることができた。次回の応募方法に工夫が必要である。今回の経験を次回の企画に活かしていくこととする。

○男女共同参画講座「津田梅子と女性の高等教育」

10月21日（金）に座学を行った。22人の参加中、新しい方が19人であったことが嬉しかった。先生の講義も昨年度の話を取り入れながら分かりやすいものであった。具体的内容としては、津田梅子が英文で書かれた開講式の式辞を和訳したものを紹介された。今回は津田塾大学卒業の方が受講者について、この講座を聞いて津田塾について初めて知って感動したとの感想も頂いた。11月4日（金）は小平の津田塾キャンパスとなる。好評につき来年度も津田塾を予定。

○国際交流イベント「初釜」

1月14日（土）午後1時から3時を予定。この講座は、外国の方との交流と外国の方に日本の文化を体験してもらうことにある。当日は、外国の方にも日本の着物を用意しておく。

4 その他

○音楽鑑賞のつどい「クリスマスコンサート」

楽器はピアノ、フルート、バイオリン。声楽の方もいるので参加者と共に歌う企画をしている。司会も演者の方が行ってくれる予定である。市報12月1日掲載となる。

次回の予定 12月6日（火）午後2時～ 学習室C